

第 56 回北陸実業団陸上競技選手権大会
兼 2026 HOKURIKU スタートアップ競技会 競技注意事項

1. 競技規則について

本競技会は、2026 年 World Athletics 競技規則・日本陸上競技連盟競技規則・本大会申し合わせ事項により実施する。

2. ユニフォームおよび携行品について

「競技会における広告および展示物に関する規程」(国内)を順守すること。抵触している場合は是正を求めるので従うこと。

3. 参加受付について

受付は下表のとおりとする。場所は参加者受付(正面入口付近)で行う。

※「個人申込」でエントリーした競技者(団体)については、個別の受け取り可とする。

期日	時間
4月10日(金)【大会前日】	---
4月11日(土)【大会1日目】	7:00~15:45(終了予定)
4月12日(日)【大会2日目】	7:00~15:00(終了予定)

4. 練習について

(1) 前日(4/10)

- ・本競技場は練習としての使用はできない。ただし、屋内走路のみ 13:00~16:00 で使用可とする。
- ・補助競技場については専有利用ではないので、練習の場合は個人利用扱いとし個人利用のルールに従うこと。

(2) 大会期間中(4/11-12)

練習可能な時間帯は下表のとおりとする。

	4/11(土)・4/12(日)
本競技場	7:00~8:30 ※トラックのみ使用可
補助競技場・屋内走路	7:00~競技終了まで

※本競技場の練習については、その日にあるトラック種目・棒高跳のみ練習可。(他のフィールド種目は不可。)

ただし、サークルや助走路確認程度であれば準備等に支障のない範囲で立ち入って確認してもよい。

- ・本競技場内の芝生への立ち入りは厳禁とする。荷物等も芝生に置いてはならない。
- ・荷物の管理は選手個人の責任で管理すること。盗難があった場合でも主催者は一切の責任を負わない。
- ・カラス対策を行ってください。トンネル内であっても鞆を開けて取っていく事例が多数報告されています。

(3) 補助競技場におけるレーンの使用は以下のとおりとする。なお、フィールド内(芝生)については、

投てき競技を行うため、立ち入り・使用を含めて終日禁止とする。

1・2レーン：周回・タイムトライアル

3レーン～：スタート練習・流し等

7・8レーン：ハードル練習

トラック外周部：ジョギング程度のスピード・ウォーキング

(4) 補助競技場におけるフィールド(跳躍)種目の練習については、下表のとおりとする。

(棒高跳の練習はできない)

	4/11(土)	4/12(日)
走幅跳ピット	女子走幅跳 7:30~9:30 男子走幅跳(記録会) 11:00~12:20 男子走幅跳(選手権) 13:00~14:30	女子三段跳 7:30~9:30 男子三段跳(記録会) 10:50~11:50 男子三段跳(選手権) 12:30~14:00
走高跳ピット	=設置なし=	男子走高跳 8:00~10:00 女子走高跳 12:00~13:30

(5) 屋内練習場は走練習のみ使用できる。(ハードル・スターティングブロックを使用した練習は不可)

(6) ミニハードルやメディシンボールなどの練習器具を持ち込んでの練習は禁止する。(リレーのバトンを除く)

(7) 投てき練習は、招集完了後の現地での練習のみとする。それ以外の時間・場所では投てき物を持たない練習のみ可。

※特に公園内は一般住民が利用しているため、投てき物等を持つての練習は厳禁とする。

(8) 駐車場・運動公園歩道等の公共エリアでのウォーミングアップは禁止とする。器具を用いての投てき練習は全て禁止する。用具を持たないやり投げの助走、円盤投・ハンマー投のターン練習のみ可能とする。(タオル等を投てき物とみなして所持しての練習も禁止とする)

5. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、参加受付の際に1名につき2枚配布する。
- (2) アスリートビブスは、そのままの大きさと胸と背に確実につける。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸または背だけでもよい。
- (3)トラック競技に参加する競技者の腰ナンバー標識については以下のとおりとする。
なお、シール式をつける場合は、汗等で剥がれ落ちることを防止するため、招集所で配布する安全ピンで留めること。
 - ・高校生以下については1番～16番までは各学校で用意すること。17番以降は招集所でシール式を配布する。
 - ・大学、社会人については、招集所でシール式を配布する。(競歩は招集時に現地で配布する)
 - ・4×400mについては、2走・3走・4走は腰ナンバー標識をつけること。用意は前項に準ずる。
- (4) 競歩に出場する選手は、自分のアスリートビブスと同じレーンナンバー標識をつける。

6. 招集について

- (1) 招集所は、本競技場100mスタート後方、第4ゲートに設ける。
- (2) 招集開始・完了時刻等については競技日程記載のとおりとする。
なお、フィールド競技の招集については、競技場所(現地)とする。
- (3) 招集開始時刻にその場の競技役員から競技者本人が点呼を受ける。その際、アスリートビブス、競技靴、スパイクピン、競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等の商標のチェックを行う。
- (4) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んで서는ならない。スマートウォッチについては電波を発信しない状態(機内モードなど)に設定している場合のみ、持ち込みを認める。
- (5) 代理人による点呼は認めない。ただし、2種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が招集所に用意している「多種目同時出場届」を提出する。
トラック：招集を受けることができない種目(その競技者の属する組)の招集完了時刻までに招集所に提出すること。
フィールド：**最初の種目の招集完了時**に、その場で提出する。受け取った競技役員が次の種目にその内容を伝達する。
- (6) 招集完了時刻に遅れた場合や、「多種目同時出場届」および「リレーオーダー用紙」がそれぞれの指定された時刻までに招集所に提出されない場合、当該種目を棄権するものとして処理する。
- (7) 招集開始および完了は、招集所に設置されている時計を基準として行う。
リレー種目は、当該種目第1組の招集完了時刻1時間前までに招集所に提出すること。オーダー用紙の提出がないものについては「欠場」として扱う。なお、オーダー用紙は参加受付にてアスリートビブスと一緒に配付する。
(オーダー用紙は各日9:00頃から受け付ける。4×400mについては、競技日以前であっても招集所が機能している時間帯については提出することができるが、提出後の変更の可否はTR24.12[国内]のとおりとする。
【以下は記録会のみ適用】
 - ・チーム間のメンバーの入替は可とする。プログラムに記載されている4名でメンバーを編成してよい。

7. 欠場について

- (1) 棄権については必ず欠場届を提出すること。欠場届の提出がない場合、今後の競技会参加を認めない場合がある。
- (2) 現地招集所への口頭での申し出、もしくは、以下のURLもしくは二次元バーコードから入力し届け出ること。

【URL】 <https://forms.gle/Wr3UCf7ZwpmEtnVt6>



8. 競技について

- (1) 競技の抽選・番組編成・全体について
 - (ア) 各ラウンドの組み合わせについては、その時のランキングを基準とする。同一所属の同一組は考慮しない。
 - (イ) タイムによる次ラウンドへの進出者を決定する時に、最終枠に同記録(0.001秒単位)がありレーンが不足する場合は、当該競技者もしくはその委任を受けた代理人により抽選を行い進出者(チーム)を決定する。
 - (ウ) 決勝で複数組を行う場合、C→B→Aの順で行う。A決勝の順位が選手権の順位となる。B・C決勝出場者がA決勝の記録を超えたり、A決勝が8人に満たない場合でも、順位の繰り上げ等を行わない。
 - (エ) 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは各自持参のものを使用すること。また、持ち込みの投てき用具については検査に合格したもののみ使用を認める。
 - (オ) 現地での抗議は認めない。
 - (カ) 競技結果の正式発表時刻は、アナウンスで告知された時刻とする。
- (2) トラック競技について
 - (ア) 計時はすべて電気計時(0.01秒)を用いて行う。
 - (イ) 5000m以上の種目では給水所を設置する。

- (ウ) 衣類運搬は実施しないので、選手は各自で荷物をまとめるビニール袋等を持参すること。スタート付近の混雑緩和のため、スタート地点に移動する際に、荷物の移動を求めるので指示に従うこと。
(国際情勢により、ビニール袋の購入制限がかけられているため、配布はできない)
- (エ) フィニッシュ後、競技に支障のない範囲でスタート地点に戻る。正面スタンド前の通行も可
- (オ) 次ラウンド進出者が欠場した場合のレーン補充は行わない。
- (カ) 準備状況により、競技開始時刻よりも前に準備が整っていれば、5分程度を限度として、競技開始を早める場合がある。

(3) リレー競技について

- (ア) リレーに使用するマーカーは各チームで用意すること。

(4) フィールド競技について

- (ア) 招集後の練習は、全て競技役員の指示に従うこと。
- (イ) 4人以上いる場合の試技時間については45秒とする。
(連続試技の場合は1分45秒とする。) 3人以下となった際の試技時間は、競技規則のとおりとする。
- (ウ) 手拍子を求める行為は禁止とする。
- (エ) 投てき用具の持ち込みを希望する者は、下記時間に用器具検査場(正面受付付近)にて検査を受けること。持ち込みは1人2つまでとする。WRk種目についてはWA認証品に限る。WA認証番号の証明は持参者が行うこと。
【4月11日(土)】8:00~12:00 【4月12日(日)】7:30~12:00
- (オ) 検査に合格した投てき用具はその場で一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。返却は用器具検査場で行うので、競技終了後できるだけすぐに受け取りにくること。現地での返却はしない。借り上げた用具の破損について主催者は一切の責任を負わない。
- (カ) 荷物をまとめる袋等は各自で用意すること。
- (キ) 走高跳に使用するマーカーは各自で用意すること。
- (ク) 棒高跳に出場する競技者は、支柱移動については現地で競技役員に申告すること。
- (ケ) 三段跳の踏切板は、男子:11m 女子:9mに設置する(予定)。
ただし希望により、男子は13m・女子は11mでの試技も可能である。(招集時に申し出ること)
- (コ) 高さの競技のバーの上げ方は下表のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	5	6以降
男子走高跳 グループ1	1m82/1m92/2m02	1m87	1m92	1m97	2m00	2m03	3cm ずつ上げる
男子走高跳 グループ2	1m52/1m62/1m72	1m57	1m62	1m67	1m72	1m77	5cm ずつ上げる (グループ1に準ずる)
女子走高跳	1m22/1m42/ 1m57	1m27	1m32	1m37	1m42	1m47	5cm ずつ上げる
棒高跳グループ1	任意の高さ	2m02	2m12	2m22	2m32	2m42	10cm ずつ上げる
棒高跳グループ2	任意の高さ	3m22	3m32	3m42	3m52	3m62	10cm ずつ上げる

※ただし、気象状況等により審判長の判断でバーの上げ方を変更する場合がある。

※第1位が同成績の場合、順位決定の際のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

・高さの競技は選手権・記録会同時実施のため、優勝決定後の任意の高さへの変更は、2つの区分合わせて残り1人となった時から可となる。

- (サ) 本競技場においては構造上危険を伴うため、どのような方法であっても録画されたものを確認するためにコーチ席との機器の受け渡しをすることはできない。また、受け渡しをしない場合でも、自撮り棒などを使用した録画媒体の確認も危険を伴うので行わないこと。

9. 競技エリアの入退場について

- (1) 競技エリア(競技場)への入退場は、競技役員の指示により行う。棒高跳については第3ゲート(200mスタート)から屋内練習場前を通り、第一曲走路からAゾーンに入場すること。
- (2) 競技終了後は競技役員の指示に従い退場すること。

10. 抗議と上訴について

- (1) 競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから30分以内(同一日に次のラウンドがある場合は15分以内)に、大会運営本部に申し出ること。時間内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものとみなす。
- (2) 本競技会は Jury を置いていないので、上訴はできない。

1.1. 表彰について

表彰式は行わない。以下の選手は大会運営室2に賞状等を取りに来ること。

- ・北陸実業団選手権大会の優勝者には賞状を授与する。
- ・選手権、各種目の優勝者には賞状とメダル、2～3位には賞状を授与する。

1.2. ドーピングコントロールについて

ドーピングコントロールテストは、JADA 及び JAAF の規則に従い実施するので、係員より指名された競技者は、テストを受検すること。

1.3. 迷惑撮影防止について

各大会における盗撮の報告および日本陸連による盗撮防止啓発により安心安全な大会運営を行う為、主催者規定に基づき、対象者のみ撮影について許可制とする。撮影機器使用者は、下記の事項を遵守すること。

- (1) 競技場正面に設置する『撮影許可証発行所』にて身分証明書を提示のうえ、手続きを行うこと。
- (2) 手続き完了後、預かり金 1,000 円と引き換えに撮影用ビブスを受け取るものとする。
(預かり金はビブス返却時に返金する)
- (3) 撮影時は、必ず撮影用ビブスを着用すること。ビブス未着用での撮影行為は禁止とする。
- (4) 撮影場所は、撮影禁止場所(別紙)を除くスタンド1層目からのみとし、1層目コンコースからの撮影は禁止とする。
- (5) 上記手続きに従わない場合、撮影を認めないことがある。

【撮影許可手続き対象撮影機器】

一眼レフカメラ/ミラーレスカメラ/家庭用ビデオカメラ/カメラ機能付き双眼鏡(単眼鏡)
ズーム機能使用および望遠レンズ着用のスマートフォン・タブレット端末

1.4. 医療機関

新潟市民病院 新潟市中央区鐘木 463-7 TEL:025-281-5151

1.5. 大会主催者の免責事項

- (1) 本大会は、競技者及び競技役員・補助員に対する団体総合補償(保険)に加入する。但し、引率と指導者は対象外となる。
- (2) 死亡・後遺障害:117万円 入院(1日180日限度):1,500円 通院(1日90日限度):1,000円
- (3) 対象期間は4月11日(土)から4月12日(日)とする。

1.6. その他

- (1) 更衣室は正面スタンド内にある。更衣のみに使用し、貴重品は各自の責任で管理すること。なお、実業団選手は男子が更衣室1、女子が更衣室2を控室として開放する。
- (2) 正面スタンド最前列手すりには、応援旗・部旗・横幕・のぼり等を取り付けないこと。その他の場所については観戦・競技進行等の妨げにならない範囲で認める。ただし、主催者により移動や撤去を要請する場合がある。
- (3) 本競技場でのテントの設営は禁止とする。競技場外はスワンフィールド芝生(トラック外)のみ可とする。競技場トンネル内での場所取りは構わないが、競技運営ならびに競技用具撤収の際に妨げにならないようにすること。なお、場所取りのテープは養生テープのみ可とする。どの場所においても、妨げになっている場合は主催者が移動する場合がある。
- (4) 本競技場及び補助競技場の入場順を決める抽選等を行わない。各チームが良識の範囲で待機場所を確保すること。
- (5) スパイクシューズを履いたまま競技場施設(スタンド等)には入らないこと。
- (6) 記録掲示は行わない。アスリートランキングで確認すること。
- (7) プログラム(冊子)はチームの人数に応じて配布する。
- (8) 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡すること。
- (9) 競技会中の傷害などの応急処置は主催者で行うが、その後の処置については、本大会で加入している傷害保険の範囲内とする。
- (10) 記録証明書は発行しない。本大会の出場証明書が必要な場合は大会本部に申し出ること。
- (11) 参加料領収書はエントリーシステム(決済システム)から発行できる支払証明書に代える。
(振込対応のチームは、振り込み時に発行される振り込み明細書を領収書に代える)
- (12) トイレ前や非常口、車イス優先観戦場所等は禁止とする
- (13) 荷物の留め置きについては、本競技場(スタンド)はシート等で巾着状にしてその場に留め置いてよい。
- (14) 補助競技場は、テントは骨組みのみとし、その他は本競技場へ通じるトンネル内に置くこと。ただし、天候その他の理由で移動を求める場合がある。

(15) 大会関係者が撮影した写真・動画は主催者に使用権限があり、SNS など情報発信に使用する場合があります。

(16) 棒高跳ポール送付先は以下のとおりとする。往復ともに各自の責任でもって対応すること。

デンカビッグスワンスタジアム 〒950-0933 新潟県新潟市中央区清五郎67-12 TEL:025-287-8811

(17) 提出書類等については、下表のとおりとする。

	書類等	提出先	期限等
1	欠場届	競技注意事項7(2)参照	
2	多種目同時出場届	招集所	招集を受けることができない種目の 招集完了時刻
3	リレーオーダー用紙	招集所	競技注意事項6(7)参照
4	棒高跳支柱移動届	現地(口頭)	競技場所で競技役員に口頭で申告すること。
5	抗議申し立て	大会本部(口頭)	競技注意事項10(1)参照
6	上訴申し立て	大会本部	競技注意事項10(2)参照